

III章 保健衛生部門

1 地域保健対策強化の概要

平成9年4月に地域保健法が全面施行され、保健所は地域保健の広域的、専門的かつ技術的拠点として位置づけられた。また、平成24年7月の「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」の一部改正をふまえ、大分県では、機能強化に向けて、①健康なまちづくりの推進 ②専門的かつ技術的業務の推進 ③情報の収集、整理及び活用 ④調査及び研究等の推進 ⑤市町村に対する援助及び市町村相互間の連絡調整の推進(人材育成を含む) ⑥地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化 ⑦企画及び調整の機能の強化の7項目について保健所企画調整部門活動指針に掲げている。平成27年度、当保健所では特に下記の項目について重点的に取り組んだ。

(1) 企画及び調整の機能の強化

保健所は、地域の持つ課題に対する施策の企画立案及び関係機関との連携による施策の実施など広域的、専門的かつ技術的拠点としての機能を総合的に発揮することを目指している。

1) 大分県東部保健所運営協議会の開催

地域住民の意見を十分反映した保健所業務の運営を行うため、地域保健法（昭和22年法律第101号）第11条及び大分県保健所運営協議会条例（昭和31年大分県条例第70号）第1条に基づき、管内住民の代表者で構成される大分県東部保健所運営協議会を設置し、関係機関等との有機的連携のもとに地域保健対策を総合的に推進した。

なお、協議会は地方自治法第138条の4第3項に基づく県の附属機関として位置づけられている。

平成27年度

開催日	場 所	出席者	議題
H27. 9. 3	別府県税事務所 会議室	運営協議会委員、 保健所職員 25名	・ 東部保健所管内の概況 ・ 東部保健所・国東保健部・地域福祉室の取組 について

資料：東部保健所調べ

2) 東部保健所企画調整会議の開催

地域保健法及び基本指針に基づく保健所の機能強化を目指して、各課を横断した総合的な活動を展開するために、保健所の運営方針、取組内容等について検討を行った。

平成27年度

会議名	回数	構成メンバー	議題
企画調整会議	13回	所長、副所長、保健部長、 地域福祉室長、各課長、 各班総括、企画調整担当	・ 保健所行動計画の策定及び評価 ・ 健康危機管理体制整備に向けた計画立案、 推進方策の検討・評価の実施 ・ 各種横断的会議、事業等の企画及び評価等

資料：東部保健所調べ

3) 東部地域医療構想調整会議の開催

医療介護総合確保推進法の成立・交付を受け、管内における効率的かつ質の高い医療提供体制を構築するため、関係者とともに医療機能の分化・連携の推進等について協議を重ねた。

平成27年度

実施日	場 所	出席者	議題
H27. 8. 28	豊泉荘	医師会、歯科医師会、 薬剤師会、医療関係者、 大分県後期高齢者医療広域連合、 看護協会、地域包括支援センター、 消防署、別府市、杵築市、日出町、 国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想（ビジョン）の策定について ・今後の進め方について ・将来の必要病床数の推計値について ・構想区域間（県外・県内）の流入出について
H27. 10. 13			<ul style="list-style-type: none"> ・将来の医療受給及び必要病床数の推計値について ・地域医療構想の骨子（案）について
H28. 1. 19			<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療構想（素案）について ・今後の予定について

資料：東部保健所調べ

4) 東部圏域在宅医療推進会議の開催

東部医療圏域における在宅医療の推進と、市町村を超えた医療と介護の関係機関相互の連携を図るため、平成26年度から会議を設置している。平成27年度は入退院時情報共有ルールの策定にあたり、管内関係機関との調整を行い、会議で承認を得た。

なお、先行してルールが存在する国東保健部管内では、東部圏域案をケアマネジャーネットワーク会議やくにさき地域ケア推進会議（ホットネット）等で情報提供するとともに、試行案の提示等を行った。

① 入退院時情報共有ルール策定にかかる市町村検討会の開催

実施日	場 所	出席者	議題
H27. 6. 4	東部保健所	別府市、杵築市、日出町、国東市、各市町地域包括支援センター、国東保健部	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時情報共有ルール策定事業説明会を受け、各市町の進捗状況について ・今後のスケジュールについて

資料：東部保健所調べ

② 入退院時情報共有ルール策定にかかる病院関係者検討会の開催

実施日	場 所	出席者	議題
H27. 7. 8	厚生連鶴見病院	東部保健所管内27医療機関	<ul style="list-style-type: none"> ・主旨説明 ・意見交換 ・今後のスケジュール

資料：東部保健所調べ

③ 病院代表者とケアマネ代表者による合同会議の開催

実施日	場所	出席者	議題
H27.10.16	東部保健所	管内病院代表、各地域包括支援センター（ケアマネジャー代表）、別府市、杵築市、日出町	<ul style="list-style-type: none"> ・病院側意見とケアマネジャー側意見の確認 ・意見交換 ・今後のスケジュール

資料：東部保健所調べ

④ 東部圏域在宅医療推進会議の開催

実施日	場所	出席者	議題
H28.3.3	豊泉荘	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医療機関、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、別府市、杵築市、日出町、国東市、姫島村	<ul style="list-style-type: none"> ・各市町の在宅医療連携拠点整備事業の取組と課題について ・東部保健所の医療介護連携に向けた取組について ・入退院時の情報共有ルールについて

資料：東部保健所調べ

(2) 地域における健康危機管理の拠点としての機能の強化

保健所は健康危機事案発生の未然防止に努め、事案発生時には迅速かつ適切な対応を行い、健康危機管理の拠点として地域住民の安全な暮らしを守ることを目指している。

そこで、平常時の体制整備（健康危機発生の未然防止、体制の構築）、発生時の関係機関との連携による迅速・適切な対応力向上に向けて、各種の取組を推進した。

健康危機管理体制の構築

平成15年度から、健康危機事案発生時の所内体制の整備を目的として、全職員を対象にした所内研修及び実技訓練（シミュレーション）等を実施している。

平成27年度は、エボラ出血熱、デング熱、MERS（中東呼吸器症候群）等の動向を把握しつつ、発生時の対応について所内検討や実地訓練等を実施した。また、特定家畜伝染病（高病原性鳥インフルエンザ等）への対応に向けて、県関係部局、市町村、関係機関と連携して防疫演習に参画した。さらに、福岡検疫所の主催による、大分空港新型インフルエンザ検疫措置訓練に参画した。

平成27年度

	主催者及び実施日	内 容 等	参 加 者 等
健康 危連 機絡 管会 理議	東部保健所 H27.12.9	①健康危機管理体制について ②感染症をめぐる動向について ・感染症関係法令の改正 ・国内外の感染症の発生動向について ③大規模災害への備えについて ・EMIS入力訓練の実施 ・災害時の避難弱者への対応訓練	管内の医師会、歯科医師会、医療機関、消防本部、警察署、別府市、杵築市、日出町、国東市、姫島村、東部振興局、別府教育事務所、東部保健所
職 員	東部保健所 ①H27.9.9 ②H27.11.11	①防護服の着脱訓練 ②感染症疑似患者の発生に備えた消防機関等との移送訓練	①東部保健所、別府土木事務所職員 ②消防本部、厚生連鶴見病院、東部保健所職員
研 修	国東保健部 H27.9.29	防護服の着脱訓練	国東保健部、東部振興局、国東土木事務所職員、国東市役所職員

健康危機管理シヨーン	東部振興局 H27. 11. 5	東部地区特定家畜伝染病防疫演習 ・管内の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが疑われる事例が発生したとの想定で、集会場、クリーンゾーンの会場設営、健康チェック、防護服着脱等一連の流れを実施した。また、新たに消毒ポイントの設置や車両の消毒について、演習を実施した。	東部振興局、日出水利耕地事務所、宇佐家畜保健衛生所、別府・国東土木事務所、国東市、別府・杵築日出・国東の各警察署、東部保健所、国東保健部
各種情報提供	県・保健所ホームページ	健康危機管理に関する各種情報提供 ・感染症発生动向調査結果の提供 (大分県保健所健康危機管理情報提供システム「あなたの街の感染症情報」の活用) ・東部保健所ホームページへの情報掲載 ・市町村報、新聞、TVへの情報提供	住民、関係機関職員等を対象
	iFaxによる情報送信(随時)	・注意喚起情報の提供 1回 (ノロウイルスについて注意喚起)	管内関係機関(登録施設)
管物品		健康危機管理に必要な機器・機材及び物品の整備	

資料：東部保健所調べ

(3) 人材育成

1) 看護学生等実習生指導

【東部保健所】

平成27年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学(学部生)	8名	H27. 5. 11～6. 5 (2週間)
大分県立看護科学大学(大学院生)	1名	H27. 6. 15～12. 11 (5週間)
別府医療センター附属大分中央看護学校	24名	H27. 5. 25～10. 21 (3日間、5週間)
大分大学医学部看護学科	6名	H27. 11. 9～H28. 3. 4 (2週間)
計	39名	

資料：東部保健所調べ

【国東保健部】

平成27年度

施設名	受入人数	受入期間
大分県立看護科学大学	4名	H27. 5. 11～5. 15 (5日間)
大分県立看護科学大学	4名	H27. 6. 1～6. 5 (5日間)
大分大学医学部看護学科	2名	H28. 1. 12～1. 14 (3日間)
計	10名	

資料：東部保健所調べ

2) 公衆栄養学臨地実習指導

平成27年度

施設名	受入人数	受入期間
別府大学	3名	H27. 10. 5～10. 8、10. 11 (5日間)
	3名	H27. 10. 5、10. 13～10. 16 (5日間)
	3名	H27. 10. 5、10. 20～10. 23 (5日間)
	3名	H27. 10. 5、10. 26～10. 29 (5日間)
計	12名	

資料：東部保健所調べ

3) 管内保健師の人材育成

① 東部保健所管内地域保健・福祉従事者会議

平成27年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H27.4月 ～H28.3月 (8月は休会)	東部保健所、 管内各市役所・ 町役場会議室	13:30 ～ 15:30	11回	303人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②グループ検討 「テーマ：地域診断に基づく PDCAサイクルの実践」 ③事例検討

資料：東部保健所調べ

② 国東保健部管内地域保健活動研究会

平成27年度

実施月	場 所	時間	回数 (延)	参加者数 (延人員)	内容
H27.4月 ～H28.3月	国東保健部 国東市保健センター	13:00 ～ 16:30	12回	181人	①各機関からの情報提供、参加者間での共有 ②これまでの保健活動とこれから、みんなに伝 えたい思い（報告） ③活動振り返りシートを用いてPDCAサイク ルを描こう（報告） ④地域診断「データから見る市村の姿」 ⑤壮年期の健康づくり ⑥ケーススタディ

資料：東部保健所調べ

4) 新任保健師の人材育成

平成26年3月の厚生労働省健康局通知「地域における保健師の保健活動について（保健師活動指針）」において、保健師の保健活動の基本的な方向性の10項目の1つに「地域診断に基づくPDCAサイクルの実施」が示された。

今年度は、医療政策課がおこなう新任期及び中堅期保健師研修会と連動し、地域診断の実際を学び、効果的な保健活動が展開できる能力を養うことを目的に、研修に取り組んだ。

平成27年度

	実施日	内容等	対象者・参加者等
地域診断の 実践	H27.6月 ～H28.2月	各市町村の人口動態・人口静態、 死因統計のデータ収集・加工・読 み取りを通して、各市町村の地域 保健の現状を整理した。 採用2,3年目の保健師においては、 さらに、各自の担当分野の取 り組み状況を表やグラフにまとめ、 アセスメントから健康課題を抽出 し、業務の優先順位の検討や、実 施結果をまとめた。	対象：新任保健師 15名 ※指導保健師は、随時、新任保 健師の相談に乗りながら、一緒 に地域診断をすすめていった。
地域診 断研 修会	①H27.7.29 ②H27.10.19 (①②医療政策課) ③H27.12.7 (③東部保健所・ 国東保健部で合同 実施)	新任期の保健師及びその指導者 を対象に地域診断について基本的 な知識・手法の習得と、指導力の 向上にむけ、医療政策課が研修会 を開催した。 東部保健所・国東保健部合同の 研修会では、新任期及び指導保 健師の進捗状況に応じた講義、質 疑応答や意見交換をおこなった。	①対象：新任保健師及び企画調 整担当者 ②対象：指導保健師及び企画調 整担当者 ③対象：新任期及び指導保健師、 企画調整担当者 26名

地域 診 断 実 践 報 告 会	①H28. 2. 3 (医療政策課) ②H28. 2. 16 (東部保健所) ③H28. 2. 24 (国東保健部)	地域診断の実践を踏まえ、各地域の保健統計、健康状態、担当分野の優先課題とそれに対する取り組み等について発表した。 大分県看護協会から、助言者として甲斐久美子氏に参加していただいた。	①対象：新任期及び指導保健師、企画調整担当 ②対象：新任期及び指導保健師、各所属担当課長、企画調整担当 計26名 ③対象：新任期及び指導保健師、各所属担当課長、企画調整担当 計18名
---------------------------------------	---	---	---

資料：東部保健所調べ